



12 挖削形状

ツールの呼び出し方

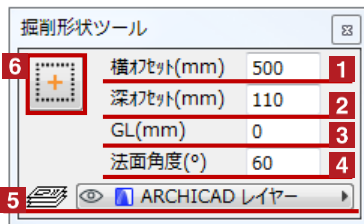
メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「挖削形状」のアイコンを選択します



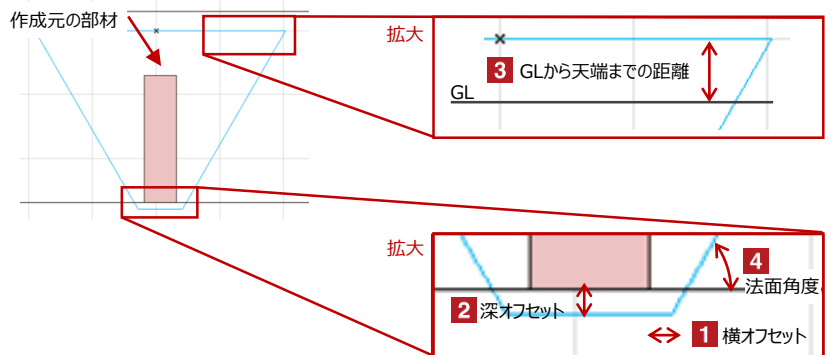
挖削形状のアイコンを選択します


作成方法

各項目を設定後、選択した部材の挖削形状を生成します

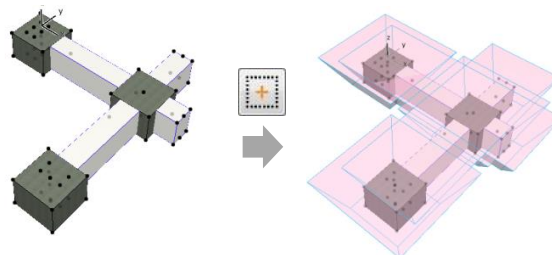


- 1 横オフセット（躯体側面から法尻までの距離）を設定します
- 2 深オフセット（躯体底面から床付け面までの距離）を設定します
- 3 GLから、生成する挖削形状の天端レベルを設定します
- 4 法面の角度を設定します



- 5 配置するレイヤーを選択します
- 6 作成元となる部材を選択し、 をクリックします

部材を選択



※作成元の部材は、複数選択が可能です

※挖削オブジェクトは部材ごとに個別の挖削形状を作成します



活用例

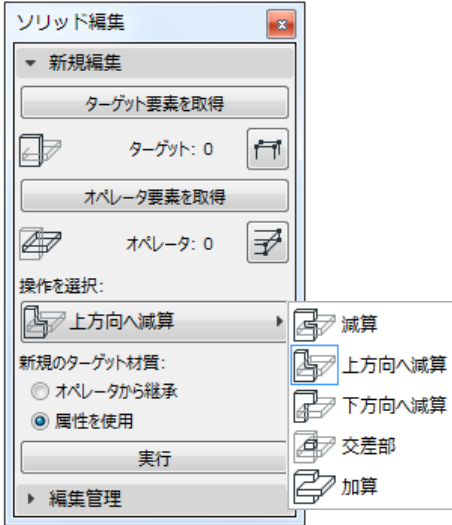
ソリッド編集を利用し、掘削モデルを作成します

メニューバーから「デザイン」→「ソリッド編集」を立ち上げます

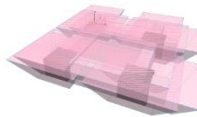
【根切モデルの作成】

手順1) 掘削オブジェクトの作成

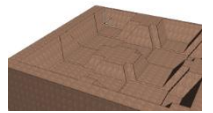
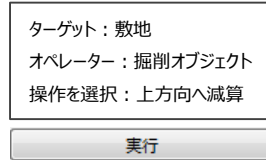
手順2) 敷地のソリッド編集
敷地をターゲット、掘削オブジェクトをオペレータとし、上方向へ減算します



掘削オブジェクトの作成



敷地のソリッド編集

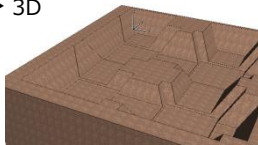


手順4) 敷地をモルフィ化
敷地を選択し右クリック「選択内容をモルフに変換」をクリックします

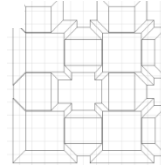
- ※ 根切りモデルをモルフ化することで、3D上で根切り底・法面の設定、2D上で法面形状の表示などが可能となります
- ※ 一度モルフ化すると掘削前の操作には戻せませんのでご注意ください

< 根切りモデルの完成 >

▶ 3D



▶ 2D



※ 2D表示では、モルフ化せずに3Dドキュメントを活用することも可能です

【掘削数量モデルの作成】

手順1) 掘削オブジェクトの作成と敷地のコピー
掘削オブジェクトを作成後、敷地をコピーして2つにし、敷地①、敷地②とします。

手順2) 敷地①のソリッド編集とモルフィ化
[敷地①]をターゲット、[掘削オブジェクト]をオペレータとし、[上方向へ減算]し根切モデルを作成後モルフ化します

敷地①のソリッド編集

ターゲット：敷地①
オペレーター：掘削オブジェクト
操作を選択：上方向へ減算

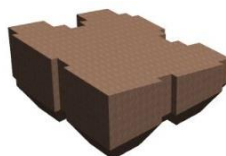
手順3) 敷地②のソリッド編集
[敷地②]をターゲット、[敷地①]をオペレータとし、[減算]します

敷地②のソリッド編集

ターゲット：敷地②
オペレーター：敷地①
操作を選択：減算

< 掘削数量モデルの完成 >

▶ 3D



※敷地が傾斜している場合にも有効です
※体積表示ツールで体積を表示すると数量を表示することが可能です

掘削数量305.71m³